

県政を
身近に

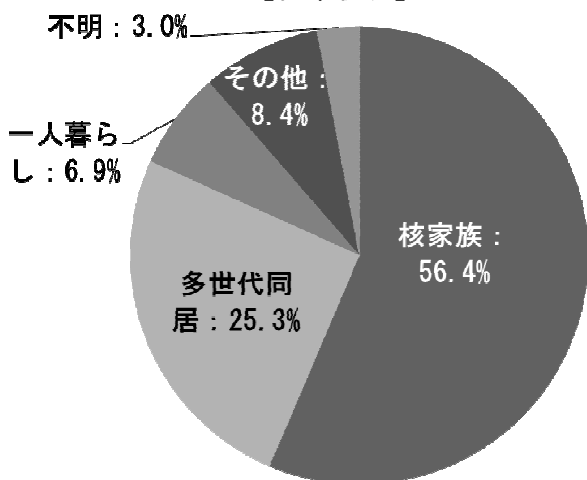
県議会議員

あらい絹世の磯っ子レポート

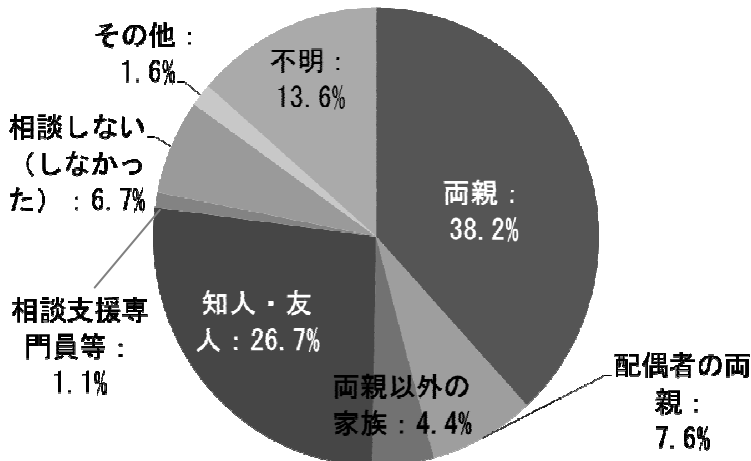
児童虐待防止に関するアンケート結果

児童虐待防止を目的に、児童虐待防止に向けた取り組みや制度の認知度を調査するとともに、子育てをする上での不安や悩み等を聴取する取り組みとして、自民党女性局が7月から8月にかけて全国でアンケートを行い、先日その結果が出ました。

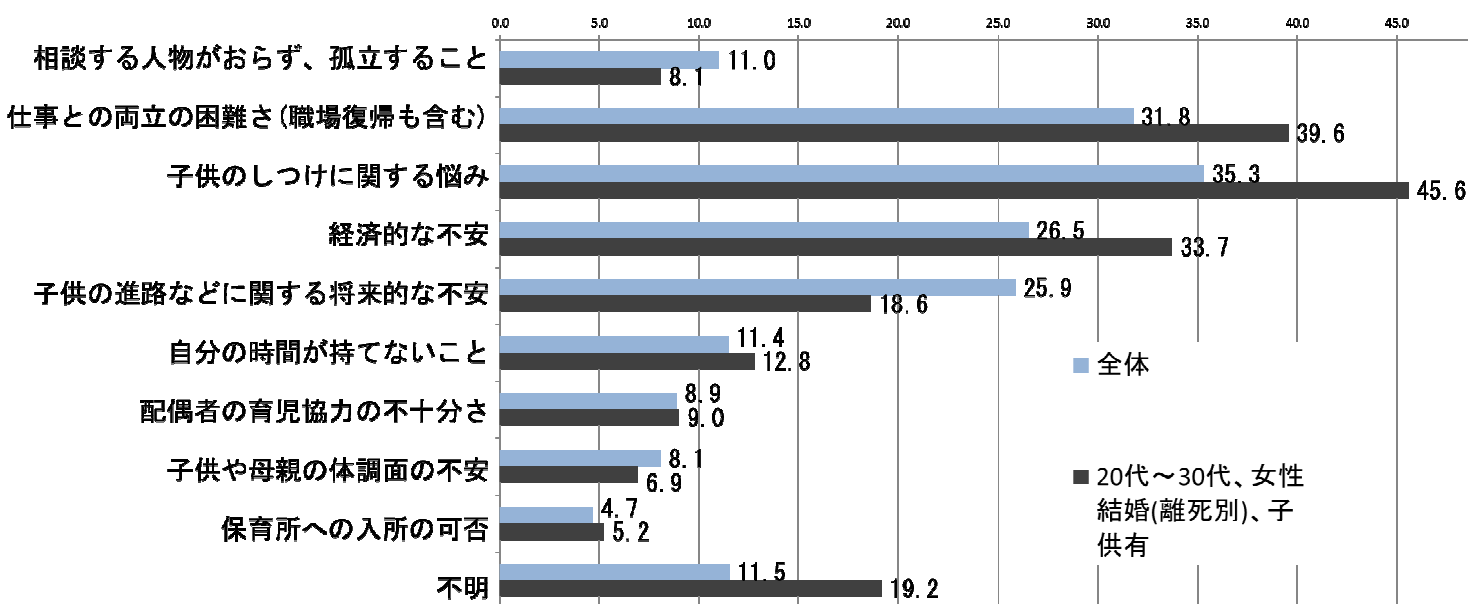
【世帯状況】



【子育てについて配偶者以外の誰と最もよく相談しますか(もしくはしましたか)?】



【子育ての際に一番不安に思うこと(もしくは思ったこと)は?】



あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 防災警察常任委員



児童虐待防止について あらい絹世はこう考えます

児童虐待防止アンケートの結果を見ると、子育ての際一番不安に思う事は、全体的にも、また20～30歳代の方にとっても「子供のしつけに関する悩み」でした。昔は兄弟姉妹が多かったので、兄弟姉妹の子供を世話する機会もありましたが、現在はわが子を産んで初めて赤ちゃんの世話をする親も増えています。果たして正しいしつけが出来ているのだろうかと不安に思う事が多いのではないのでしょうか？

子育てについて配偶者以外の誰と相談するかを聞いたところ、一番多かったのが「両親」でした。しかしその一方、世帯状況を見ると「核家族」が56.4%と半数以上を占めます。子育てを一緒に考えてくれる祖父母が身近に居らず、どうしていいのかわからず悩んでいる親が多いようです。子育てによる悩みを一人で抱え、そのストレスにより虐待に至ることも稀ではありません。何よりも先ず母親の悩みや不安を聴き、一刻も早く母親の育児不安や孤独感を拭い去るようにしなければなりません。子供を安心して育てていくためには、日常生活で一番身近な「地域」の人たちの協力や支援が必要です。

11月13日から26日は家族の週間です。子育てを支える家族と地域の力の大切さを改めて考えてみてはいかがでしょうか？

議会あれ？これ？

県議会には常任委員会や特別委員会以外にも委員会があります。

● 予算委員会

予算及び予算関係の議案に関し協議等を行います。第三回定例会の予算委員会での自民党の質疑項目は、

1. 災害対策の強化について
 2. リニア県内駅設置によるまちづくりと県内産業の活性化について
 3. 高齢者施策について
 4. かながわスマートエネルギー構想について
- でした。

● 決算特別委員会

決算認定議案が提出された時に設置され、一般会計、特別会計、企業会計の決算を審査します。

● 議会運営委員会

議会を円滑に運営するために設けられています。議会の会期、議事に関する事項など重要な事項を協議・調査等します。

次回の お題は 「今年」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みは FAX で (締め切りは 11 月 27 日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集



先月のお題は「旅」
沢山のご投稿有り難う
ございます

お土産は
かばん一杯
洗濯物(きんさん)

待っていた
国会見学
バスの旅(和子さん)

土産より
試食が気になる
旅の良さ(Sさん)